



# 東京都立 国分寺高等学校

- 学校長／糸井 一郎
- 創 立／昭和44年
- 生徒数／949名(男451名、女498名)

## 沿革

昭和44年、東京都立国分寺高等学校設置。昭和45年、現在地に新校舎完成。平成14年に進学重視型単位制高校への改編とともに校舎を全面改築し、平成19年に進学指導特別推進校に指定される。平成30年度創立50周年を迎えた。

## 特色ある教育

本校は「知・情・意」を兼ね備えた人間の育成を教育目標として掲げ、これまで文武両道の伝統と校風を築いてきました。

代表的な学校行事の「木もれ陽祭」では、合唱祭・文化祭・体育祭をクラスや各団が一体となって取り組み、一生の財産となるような感動体験を得ることができます。また、部活動は、運動部も文化部も「都立の代表」を目指して活動。

学業は進学重視型単位制高校の特色を生かし、進路選択に結びつく選択科目の設置や習熟度別少人数授業を展開。その他、グローバル化した現代社会で活躍できる人材を育成するために、勉学だけでなく、豊かな人間性を育むための特色ある教育活動を展開。（英語教育推進校・海外学校間交流推進校・理数リーディング校）

## 学校行事

- 【4月】 対面式、奉仕活動(1年)、遠足(2年)、実力テスト(3年)、芸術鑑賞教室(3年)
- 【5月】 生徒総会、セーフティ教室、実力テスト(3年)、進路講話(3年)
- 【6月】 進路講演会(1・2年)、芸術鑑賞会(1・2年)
- 【7月】 実力テスト(1・2年)、進路講演会(2年)、ビブリオバトル、オープンキャンパス(1・2年)
- 【8月】 課題テスト(1・2・3年)、実力テスト(3年)、夏期講習、夏期合宿
- 【9月】 木もれ陽祭(合唱祭、文化祭、中夜祭、体育祭)、実力テスト(1・2・3年)、Gosford高校交流会、交換留学生ホームステイ
- 【10月】 実力テスト(3年)、医療系ガイダンス(1・2年)
- 【11月】 進路遠足(1年)、進路講演会(1年)
- 【12月】 冬季集中セミナー、冬期講習、校外学習(2年)
- 【1月】 課題テスト(1・2年)、実力テスト(1・2年)
- 【3月】 修学旅行(2年)、球技大会、保健講話、合格者懇親会(全学年)、オーストラリア語学研修(1年希望者)、課題研究発表会(保健体育、研究生物、理数ラボ、生物部、有志グループ等) ※今年度は日程内容等の変更があります。随時学校HPに掲載予定です。



校舎写真▲



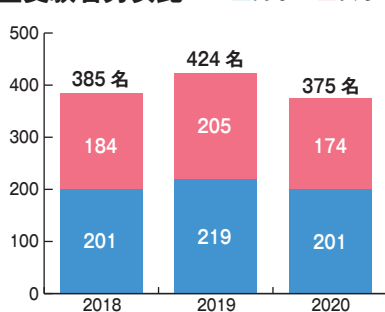
MAP▲

## 交通

- JR中央線「国立」駅(北口)より
  - ▽バス:約10分
    - ① 番のりば「戸倉循環」(立川バス)
      - [富士本三丁目]下車、南門まで徒歩5分
    - ② 番のりば「東京創価小学校」「東京創価小学校循環」[並木町二丁目](いずれも可)
      - [国分寺高校入口]下車、正門まで徒歩3分
  - ▽自転車:約7分
    - ▽徒歩:約20分
- 西武国分寺線「恋ヶ窪」駅より
  - ▽バス:約15分
    - 「戸倉循環」(立川バス)
      - [富士本三丁目]下車、南門まで徒歩5分
    - ▽自転車:約10分
      - ▽徒歩:約25分
  - 西武国分寺線「鷹の台」駅より
    - ▽自転車:約10分
      - ▽徒歩:約25分

## 過去入試データ

### ■受験者男女比



### 入試結果のデータ一覧(応募・受験・合格)

年度	募集者数			応募者数			受験者数			合格者数			実質倍率
	男女合計			男	女	計	男	女	計	男	女	計	
2018	252			213	191	404	201	184	385	136	121	257	1.50
2019	252			238	213	451	219	205	424	131	126	257	1.65
2020	252			215	182	397	201	174	375	141	116	257	1.46

※上記は一般入試の数値です。

## ▶ 入学者決定方法（2020年度）

### 推薦入試（定員の20%）

募集定員	配点	
男女64名	調査書点 5段階×9教科× $\frac{400}{45}$	400点
	集団討論・個人面接点	200点
	小論文点	200点
	合計	800点

### 一般入試（定員の80%）

募集定員	配点	
男女252名	学力検査100点×5教科× $\frac{700}{500}$	700点
	調査書点（主要5教科+技能4教科×2）× $\frac{300}{65}$	300点
	合計	1000点

## ▶ 2020年度 入試問題分析

**英語** 昨年度同様、共通問題のリスニングを含めた、大問4題の構成であった。小問24問という小問数は変化していない。また、英作文は、本文の内容に即した英文を20～40語で書く問題であった。②の対話文は、日本人の高校生がアメリカの芸術祭に参加したときの様子を描いた文章である。前後の文脈を読み取る問題、並び替え問題、本文の内容を問う問題が出題された。③の対話文は、日本の製造業に関する内容で、グラフを読み取る問題、脱文挿入問題、並び替え問題、本文内容把握問題が出題された。④の長文は、日本とアメリカの女子高校生のEメールのやり取りが書かれている形式で、日本とアメリカの生活様式や習慣の違いに関する内容であった。並び替え問題、本文内容把握問題、英作文での要約問題が出題された。

昨年度と比べて、問題数に変化はなかったといえるが、②と③の〔問6〕で、選択肢の数が8つから6つに減少したことや、④で出来事が起きた順に並び替える形式の問題が無くなったことなどから、一つの設問に対してかける時間が短縮できる問題が増えた傾向にあった。しかし、大問毎の語数で見ると、②の長文が約750語、③の長文が約1200語、④の長文が約1150語と、非常に長い文章を読まなければならないため、語彙力や英文の速読力は依然として要求されている。語彙力をつけること、多読の練習や速読力を身につけることが重要であり、英作文では、文法のミスなく書ける分を増やしていくことが必要である。

**数学** 大問4題、小問15問の構成で昨年度から問題数の変化はない。①は小問形式で基本計算問題が2問と平面図形・確率・平均値・作図と様々な単元から頻出問題が出題された。②は関数が出題され、〔問1〕が比例定数を求める問題。〔問2〕は面積比を手掛かりにパラメータで座標を求める問題と、四角形の面積二等分をする直線の傾きを求める問題が出題された。③は平面図形で、円と接線を題材にした問題が出題された。〔問1〕は円の半径を求める問題。〔問2〕は三角形の相似の証明問題。〔問3〕は円に外接する三角形の面積を求める問題が出題された。④は立方体を題材にした空間図形の問題。〔問1〕は線分の長さを求める問題で平易。〔問2〕は四角錐の体積を求める問題。答えを求める過程を分けるように途中式や計算を書く必要があるため、しっかりとした記述力が必要となる。〔問3〕は立方体上の最短距離に関する問題が出題された。

難度は例年通りで標準的で頻出問題の出題が多かった。計算・小問分野・関数・平面図形・空間図形・確率の全分野の典型的な問題を偏りがないように解けるようにすることが必須である。

**国語** 大問4題、小問27問の構成で、小問数は昨年度と比べ小説文で1問減った。設問構成は①漢字の読み書き（8問）、②小説文（選択5問、抜き出し1問）、③論説文（選択4問、抜き出し2問、200字作文）、④古文と鑑賞文の融合文（選択6問）であった。1問だけあった記述問題がなくなり、抜き出し問題が4問から3問に減り、選択問題が14問から15問に増えた。また、②と③で文章量が1～1ページ半分ほど増えた。

大問別の傾向として、②は堀江敏幸『平たい船のある風景』からの出題。心情の読み取りがほとんどなので、状況設定、直前の出来事、とくに傍線部と一連の様子や心中句をヒントに選択肢を吟味する訓練をしておきたい。③論説文は猪木武徳『自由の思想史』からの出題。抽象的な表現に対応する具体的説明として合っているものを選ぶという設問がほとんどなので、まずは常に抽象と具体の対応をおさえながら読み、文章の構造把握が必須である。ほか、段落構成の設問が必ず1問出る。④は安田登『平家物語』からの出題。古文と鑑賞文の対応から、文章の主旨を理解の上で具体例を答える問題が増えたため、③と同様の読み方で解く対策もしておきたい。

## ▶ 2020年度 大学合格実績

実績数値は現役・浪人の合計数。（ ）の数字は現役合格者の数。

東京工業大 2名(2名)	千葉大 5名(3名)	東京都立大 26名(23名)	早稲田大 40名(18名)	青山学院大 20名(16名)
一橋大 5名(3名)	東京外語大 14名(12名)		慶應義塾大 9名(4名)	立教大 47名(39名)
北海道大 7名(2名)	東京学芸大 17名(14名)		上智大 8名(5名)	中央大 54名(37名)
東北大 4名(2名)	東京農工大 8名(7名)		東京理科大 34名(19名)	法政大 80名(49名)
筑波大 6名(5名)	横浜国立大 6名(3名)		明治大 82名(53名)	
国公立大合計 149名(105名)				